

4 分析結果の概要（詳細分析は、6「問題別の考察及び指導上の留意点」に掲載）

ここでは、平成22年度学力調査結果に見られる新入学生徒の学力の傾向を各項目ごとにまとめた。

(1) 語彙力（【1】発音問題 正答率 48.5% 【2】語彙問題 正答率 54.0%）

ア 日本語は「子音＋母音」で音が成り立っているため、英語における子音だけの音に意識を向けることができない。

イ なじみのある単語であっても、正確につづることができない。

(2) 文法の知識（【3】文法・語法問題 正答率 67.2% 【4】文法・表現問題 正答率 66.8%）

ア 後置修飾における現在分詞と過去分詞の使い分けができない。

イ 現在完了や受動態に関する知識はあるが、その場面で動詞を適切に用いることができない。

(3) 口語表現（【5】口語表現問題 正答率 76.7%）

ア 電話の場面における定型表現やあいさつの表現は定着している。

イ 話し手の意図を読み取りながら、対話の展開を正しく理解して応答することが苦手である。

(4) 表現力（【6】整序・作文問題 正答率 56.3%）

主語に付く後置修飾（接触節）を理解できない。

(5) 読解力（【7】長文読解問題 正答率 62.3%）

文章に込められている書き手の意図や登場人物の心情まで深く読み取ることができない。

(6) 聞き取りの力（【8】聞き取り問題 正答率 50.6%）

前後関係を表す言葉を手掛かりにして、聞き取った情報を整理して理解することができない。